

拡充進む ULのワイヤ・ケーブル 試験・認証サービス体制

ワイヤ・ケーブル会社による世界展開が加速する中、ULも世界各地で試験所・認証スキームの拡充を進め、多様化するお客様のニーズに対応する体制の向上に努めています。下記に述べるように、台湾、中国、インドネシアのUL試験所が新たな認定や認証機関としての認定を取得したことで、より幅広い試験・認証の提供が可能になりました。迅速で効率的な市場進出に是非ULをご活用ください。

－台湾－

DisplayPortケーブルアセンブリの認定試験所に

UL Taiwanは、VESA (Video Electronics Standards Association) より認証を受け、DisplayPortケーブルアセンブリ、並びに、USB Type Cケーブル対応DisplayPort Alternate Modeアセンブリを、VESAのDisplayPort適合試験仕様 (Compliance Test Specifications : CTS) に準じて試験する第三者試験センター (Authorized Test Center : ATC) に指定されました。



DisplayPortは、GPU (Graphic Processing Unit) /ディスプレイ製品業界が開発したデジタル・オーディオ/ビデオ・インターフェース規格であり、現在はVESAが管轄しています。DisplayPortは幅広いデスクトップ・コンピューター、モニター、ノートブック・コンピューター、タブレット、4Kテレビを含むデジタルテレビに採用されています。

－中国－

蘇州のワイヤ・ケーブル試験所がCCC試験機関として認定

本年1月、蘇州にあるULのワイヤ・ケーブル試験所がCNCA (中国国家認証認可監督管理委員会) より、中国強制認証制度CCCの試験機関として認定されました。試験範囲は、GB/T 5023.3～5のワイヤ・ケーブル・カテゴリーで、以下の製品が含まれます。



〈定格電圧が下記以下であるポリ塩化ビニル絶縁ケーブル〉

- ・450/750 V-Part 3: 固定配線用シースなしケーブル
- ・450/750 V-Part 4: 固定配線用シースケーブル
- ・450/750 V-Part 5: フレキシブルケーブル (コード)

－インドネシア－

ジャカルタの試験所が、SNIの認証/試験機関に認定

ジャカルタにあるULの試験所が、KAN (インドネシア認定機関) より認証機関 (CO) 並びに試験機関 (TO) として認定され、下記のIEC規格に準じて、低電圧ワイヤと電源コードセットにインドネシアSNI認証を提供できるようになりました。

- ・IEC 60502 – 押し出し絶縁材の電源ケーブルとそのアクセサリ (定格電圧: 3 kVまで)
- ・IEC 60227 – 定格電圧が450/750 V以下であるポリ塩化ビニル絶縁ケーブル



ASEANの認証制度では、ASEAN内の認定されたTOによって作成された試験レポートが、他のASEAN加盟国でも認められ受け入れられるようになる可能性があります。よって将来的には、インドネシア以外のASEAN加盟国への市場進出・アクセスのためのサービスを実施できるようになると推測されます。

本試験所では次のサービスに注力いたします。

- ・SNI認証
- ・IEC試験レポート
- ・性能検証試験
- ・他のUL認証取得を含めたワンストップサービス

拡充進むULのワイヤ・ケーブル 試験・認証サービス体制 – その2 –

前回に引き続き、ワイヤ・ケーブルにおけるULの試験能力の拡大・充実にに関するニュースをお届けします。

UL台湾試験所がUSBタイプCのケーブルアセンブリとコネクタ、PD Eマーカ―試験のITL認定を取得

UL Laboratory in Taiwan Now Authorized Independent Test Lab (ITL)
for USB Type C Cable Assemblies & Connectors and PD E-Marker Testing

台湾のUL試験所は、この度、USB仕様を開発した企業により設立された非営利組織、USBインプリメンターズ・フォーラム (USB-IF) より、USBタイプCケーブルアセンブリとコネクタ、並びに、PD Eマーカ―の第三者試験所 (Independent Test Laboratory: ITL) として承認されました。ULは、USBタイプA、Bのケーブルアセンブリとコネクタの試験を行う認定は既に取得しています。

USBは、幅広いコンピューター周辺機器、タブレット、携帯電話をはじめとする様々な製品で、データ送信だけでなく給電にも使うことができます。この新しいUSBタイプCインターフェースのコネクタは、スリムかつ堅牢で、ラップトップ、携帯電話、タブレットなどのモバイル機器に合うように設計されています。他とは異なる特徴としては、プラグの上下とケーブルの方向がどちらでもよい形になっていること、将来登場してくるであろう製品にも対応できる拡張性がパワーと性能にあることです。PD Eマーカ―は、USBタイプCケーブルアセンブリに搭載されているチップで、給電機能や販売業者の識別子などそのケーブルに特有の特性が記録されています。

ジャカルタのワイヤ&ケーブル試験所、正式オープン

前号で、ジャカルタ (インドネシア) の試験所が、同国の国家規格、SNIの認証/試験機関に認定されたことをお知らせいたしましたが、2017年4月11日、本試験所が正式オープンし、記念式典などが開催されました。この試験所の開設は、グローバル化が進む中、激化する競争への対応と出荷時間の短縮にせまられるインドネシアのワイヤ・ケーブル企業のニーズに応えるもので、国内のメーカーによる認証取得並びに海外進出をお手伝いするのに加え、将来的にはASEAN全体にサービス提供の機会を拡大することを視野に入れていきます。

また、ULはこの記念式典で、インドネシア産業省の下部組織であるB4Tインドネシアと二つのテクニカルアレンジメント (TA) 協定を締結することを発表しました。その一つは、インドネシア市場におけるリチウムイオン・バッテリー規制に対する調査並びに規格開発に関する協定です。本件については



ULのワイヤ・ケーブル部門のL. F. ライ・バイスプレジデント兼ジェネラルマネージャーは、「USBタイプCは電気もスループットが高いデジタルコンテンツも送ることができる接続規格として世界的に普及が進んでいます。アセンブリとコネクタの試験と評価を通じてタイプC採用製品の適合性確保に協力できるようになり、うれしい限りです。この台湾の試験所は、アジア地域の多くの製造者の方々に利用しやすいと思います」と述べています。

UL Japanは日本のお客様の申請窓口として上記の各種USBケーブル・アセンブリのお問い合わせ・依頼対応をさせていただきます。

オリジナル英語記事

<http://www.ul.com/newsroom/pressreleases/ul-laboratory-in-taiwan-now-authorized-independent-test-lab-itl-for-usb-type-c-cable-assemblies-connectors-and-pd-e-marker-testing/>



UL Taiwanが技術的サポートを提供し、B4T内の技術基盤の確立を助けます。もう一つの協定は、UL Indonesiaが実施できるSNI認証の製品範囲の拡大に関するもので、この協定により、家電、照明、オーディオ/ビデオ等におけるULのB4T試験能力をSNI認証にも活用できることとなります。